

○日本の状況

- ・「将来の変化を予想することが困難な時代」(中教審)

2030年には

- ・少子高齢化 65以上の割合が総人口の3割を超える。
- ・生産年齢人口(15~64歳)の割合は減少し、総人口の約58パーセントになる。
- ・世界のGDP煮染める日本の割合は、3.4%にまで減少する(現在5.8%)
→国際的存在感の低下

また、

- ・子どもの65%は、今はない職業に就くことになる
- ・現在の半数近くの仕事が自動化される。

○社会的に今後求められる力

時代変化に対応する力 (Society5.0(技術革新の社会)への対応)

思考力や判断力に基づく課題解決能力

自らの考えを言語化できる能力

他者との合意形成能力

○多治見高校の現状

- ・まじめではあるが、積極性が今ひとつ
- ・能力はあるが、自己肯定感、自己有用感が高くはない
- ・地域の伝統校である。地域からの信頼、期待が高い。
- ・単位制普通科(自分の将来は自分で決める)

○職員の意見

- ・自主性(自立、主体的、探究心 自発性)
- ・積極性 失敗をおそれず自ら行動できる 屈強な精神 行動力 挑戦 粘り 向学
- ・行動力 現状変革の意思
- ・寛容 柔軟 調和 誠実
- ・継承 継続
- ・協働 調和 思いやり 仁
- ・奉仕 礼節 貢献
- ・飛躍 ・多面 ・多識 多彩 ・克己 ・公正 ・

自ら未来を切り拓き、社会に貢献できる人物の育成

失敗を畏れない行動力 粘り強い探究力 とともに高め合う協働力